

欧米金融機関における 生成AI活用の現在地と展望

2025年 11月28日(金) 13:00～14:00

愛知大学豊橋校舎 6号館630教室

司会・進行：田端克至（経済学部教授） ▶参加無料・申込不要

講師

吉永高士 氏

愛知大学特別客員教授
愛知大学中部地方産業研究所研究員
NRI(野村総合研究所)アメリカ
金融・IT研究部門長

2022年11月にChatGPTの存在が世界に知られるようになってから3年が経過し、欧米の銀行、証券会社、運用会社、保険会社などの金融業界でも着実に利用が広がっています。これまでの金融機関における生成AI利用状況について、先行事例の多い米国の事例を中心に解説し、資産運用立国戦略にも鑑みた日本への示唆とともに、ヒトとAIの共生や競合の観点からの考察も行います。



1988年早稲田大学政治経済学部卒、1996年ニューヨーク大学スターン経営大学院卒(MBA)。『週刊金融財政事情』記者、金融財政事情研究会ニューヨーク事務所長等を経て、2005年NRIアメリカに入社し、2011年より金融調査を統括。30年以上に渡り米国を本拠に金融機関の経営戦略や戦術、オペレーション、FinTech、制度問題等を研究し、日米の金融機関経営の深化に向けた経営者や実務家向けコンサルティング、講演、執筆活動等に従事。

ファイナンシャルプランニングで特定された個人投資家ファミリーのゴール（人生の目標や深刻な課題等）を中長期分散投資とファイナンシャルアドバイザーの継続的コンサルティングにより実現する「ゴールベース資産管理」(Goals-based wealth management) アプローチを日本で普及・推進する活動にも15年以上前から取り組む。

愛知大学中部地方産業研究所

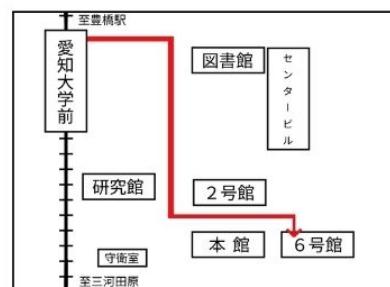
〔所在地〕〒441-8522 豊橋市町畑町1-1

〔電話〕0532-47-4140

〔メール〕chusanken@aichi-u.ac.jp

〔アクセス〕「豊橋」駅より豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」駅下車

お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。



愛知大学
オープンカレッジ



愛知大学
中部地方産業研究所